別記
第１号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

（宛先）京都府知事	平成29年7月31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市開田1丁目1番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 長岡京市長　中小路　健吾

環境マネジメントシステムの名称	KES・環境マネジメントシステムスタンダード（ステップ2）
適用範囲	長岡京市役所及び浄水場
導入年月日	2017/2/1
認証番号	KES2-0678
基本方針	長岡京市役所は地域における事業所の一つとして、基本理念にのっとり、全ての事業において総合計画、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画などの各種計画とも連携しながら、以下の方針に基づき環境マネジメント活動を推進するとともに継続的改善に努めます。 　1　長岡京市役所が行う活動、製品及びサービスについて環境への配慮を把握し、環境に著しい影響を及ぼすと認められる項目について、環境改善目標と改善計画を定め、取り組みます。 　2　環境関連法令及び本市が同意するその他の協力事項を順守するとともに、汚染の予防及び環境保護に努めます。 　3　一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	全体の目的・目標 （１）温室効果ガスの排出抑制・・・市役所庁舎及び浄水場の電気使用量を平成31年度までに7%削減 （２）廃棄物発生量の削減・・・平成31年度までに50%削減 （３）コピー用紙使用量の削減・・・平成31年度までに平成27年度比3%削減 （４）グリーン購入の推進・普及・・・99%以上を維持 （５）水道水使用量の削減・・・9,400㎥（±200㎥）を維持
目標を達成するための取組の内容	（１）温室効果ガスの排出抑制・・・「長岡京市役所地球温暖化防止実行計画」に掲げる取組みの実施 （２）廃棄物発生量の削減・・・分別排出の徹底、ゴミ排出量の縮減に努める （３）コピー用紙使用量の削減・・・会議資料の簡素化・削減及び共有化、職員周知文書の電子化、両面及び複数ページ印刷の推進、裏紙使用の推進、インフォメーション等を利用した紙減量の啓発 （４）グリーン購入の推進・普及・・・グリーン商品の購入促進 （５）水道水使用量の削減・・・節水、雨水の利用、機器の更新・新設時には節水型の購入に努める
目標を達成するための取組の進捗状況	（１）温室効果ガス排出抑制・・・「長岡京市役所地球温暖化防止実行計画」に掲げる取り組みを継続して実施中。 （２）廃棄物発生量の削減・・・分別排出の徹底、ごみ排出量の縮減を継続して実施中。 （３）コピー用紙使用量の削減・・・会議資料の簡素化・削減及び共有化、職員周知文書の電子化、両面及び複数ページ印刷の推進、裏紙利用の推進、会議資料等の修正訂正の改善、インフォメーションを利用した紙減量の啓発を継続して実施中。 （４）グリーン購入の推進・普及・・・グリーン商品の購入を継続して実施中。 （５）水道水使用量の削減・・・節水、雨水の利用を継続して実施中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	5項目のうち、廃棄物発生量を除く4項目が「A良好」となった。しかし、「A良好」は90%以上の達成であるため電気使用量の削減については、28,414ｋWhの削減に留まり、目標の2%削減を達成することができなかったため、取り組みの強化が必要になる。また、「Bやや不足」となった廃棄物発生量については、平成27年度と比較し大幅に削減をすることはできたが、目標を達成することができなかった。1月から固形燃料原料の分別を始めたことにより、分別の効果が表れており、今後も分別の徹底を図り、引き続き取組みに努める。
事業活動に係る法令の遵守の状況	定期見直しを年に1回行っている。 見直しの結果、各マニフェスト及び現地確認等の実施により、法基準の遵守状況は良好な結果である。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	定期見直しを年に１回行っている。 平成28年度は、ISO14001を返上し、新たにKES・環境マネジメントシステムスタンダードを取得したため、何を重点的に取り組む必要があるのか把握した上でシステムを運用した。

注　認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。